

事例6 保健福祉部局との連携

市町・公民館等	宇都宮市 姿川生涯学習センター
事業	親子ふれあい広場

1 事業を始めたきっかけ

姿川地区市民センターにおいては、親子を対象にした講座を保健福祉グループで実施していたが、生涯学習事業として取り組む必要性があることから、平成28年度よりまちづくり支援グループ（生涯学習担当）と保健福祉グループが連携して、「親子ふれあい広場」講座を実施していくこととなった。

2 活動内容

ベビーダンスや親子スキンタッチ、乳歯のお手入れなどの乳児向け講座（前期・後期で各3日間の日程）と、臨床心理士による講話や親子でズンバなど幼児向けの講座（前期・後期で各2日間の日程）を実施している。受講生の応募は乳児編前期・後期及び幼児編前期・後期でそれぞれ行っている。

幼児向け講座の講話の受講に際しては、託児も扱っている。（市の保育士OBなどに依頼）

3 成果と課題

○成果

講座の各回の企画・受付・当日運営は生涯学習担当と保健福祉担当が分担しているが、担当者間で情報共有しながら連携して取り組んでいる。

事業に係る予算や文書起案等の事務処理関係は、まちづくり支援グループ（生涯学習担当）が担当しているが、受講生募集に係る周知案内においては施設内における案内チラシ掲示の他、保健福祉事業関連各施設への案内周知や検診事業等の際に受講条件を満たす対象の方に案内チラシを配布するなど保健福祉グループ担当者による周知を行っている。

その結果として、募集初日でキャンセル待ちになることもあるなど、受講者数は常に定員数を確保できており、各回とも多くの受講生が参加し、アンケート結果からも充実した旨の回答が多く寄せられ、子育てを支援する目的を十分に達成できており、連携して取り組んでいる効果を感じている。

○課題や気を付けている点

講座の企画・運営にあたり、講座の目的・効果が十分得られるよう役割分担を確認しながら情報共有し取り組んでいく。

4 その他

○今後の活動

連携して取り組むことにより、充実した講座の企画運営に繋がっていると思われる。他施設における生涯学習事業や子育て支援事業の情報を取り入れながら、より連携を強化し活動を継続していきたいと考えている。

(調査協力：宇都宮市姿川生涯学習センター 専任（社会教育主事） 滝沢明弘)



ベビーダンス（乳児編）



親子でズンバ（幼児編）



イヤイヤ期とうまくつきあうコツ〔講話〕（幼児編）